

# 東海経済レポート

## （2020 年 2 月）

### ～企業部門の減速感強まりに加え、家計部門も足踏み～

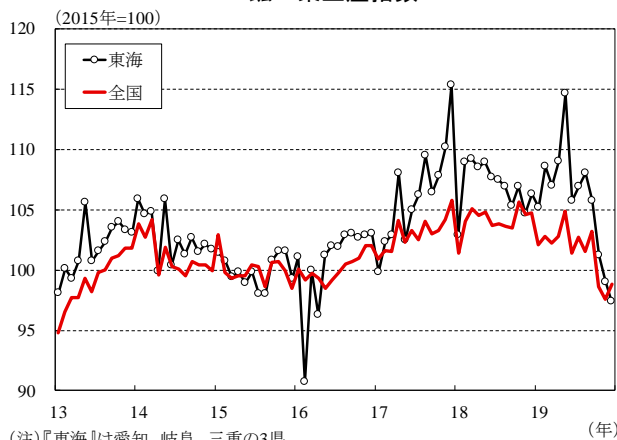
#### 【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は、企業部門で減速感が強まっているうえ、家計部門も個人消費に足踏みがみられる。企業部門は、生産、輸出の弱含みが続いているほか、設備投資の先行指標となる金属工作機械の受注額も底入れが見えない状況である。家計部門では、個人消費が総じて足踏みの状況となっている。
- ▶ 生産は、昨年 12 月の鉱工業生産指数が前月比▲1.6%と 4 ヶ月連続で低下した。業種別では、電子部品・デバイス工業や電気機械等が増産となったものの、当地域主力の輸送機械の生産が 2016 年 4 月以来となる水準まで低下し、全体を下押しした。
  - ▶ 金属工作機械の受注額では、12 月の当地区主要 8 社の国内受注額が前年比▲28.1%と 13 ヶ月連続で減少した。受注の約 50%を占める一般機械工業からの受注が同▲25.1%と二桁減少が続いているうえ、同約 30%を占める自動車工業からの受注も同▲38.8%と引き続き大幅なマイナスとなっている。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、1 月が前年比▲5.0%と 6 ヶ月連続の減少となった。米国向けが同▲14.2%、EU 向けが同▲6.1%、中国向けが同▲5.8%と、主要相手国・地域向けは総じて減少となった。品目別でも、当地域主力の自動車が同▲10.7%、自動車部品が同▲3.5%となるなど、総じてマイナスとなった。
  - ▶ 12 月の有効求人倍率は、岐阜県と静岡県が上昇した一方、愛知県が 2 ヶ月連続で、三重県は 5 ヶ月連続でそれぞれ低下となった。月毎の変動はあるものの、各県共に 2019 年春頃をピークとした低下基調が続いている。
  - ▶ 個人消費関連では、12 月の小売主要 3 業態の販売額は前年比▲1.9%と 2 ヶ月ぶりにマイナスとなった。業態別では百貨店が同▲6.8%と 3 ヶ月連続マイナスとなったほか、コンビニが同▲0.8%、スーパーも同▲0.7%と 3 業態揃って減少となっている。12 月の新車販売台数も同▲10.6%と、3 ヶ月連続で減少した。
  - ▶ 住宅着工戸数は、12 月が年率換算 8.1 万戸、前年比▲11.3%と 2 ヶ月ぶりに減少となった。分譲戸建ては同+2.0%とプラスとなったものの、分譲マンション、貸家、持ち家が揃ってマイナスとなり、全体を押し下げた。

### 【生産①】

昨年12月の鉱工業生産指数は前月比▲1.6%と、4ヵ月連続で低下。

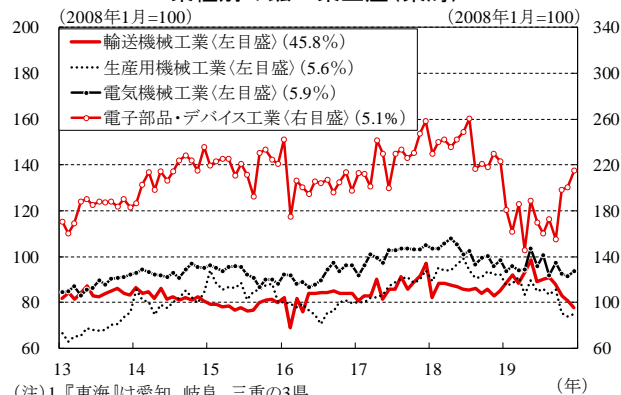
鉱工業生産指数



### 【生産②】

電子部品・デバイスや電気機械等は前月比増産となったものの、輸送機械が減産となった。

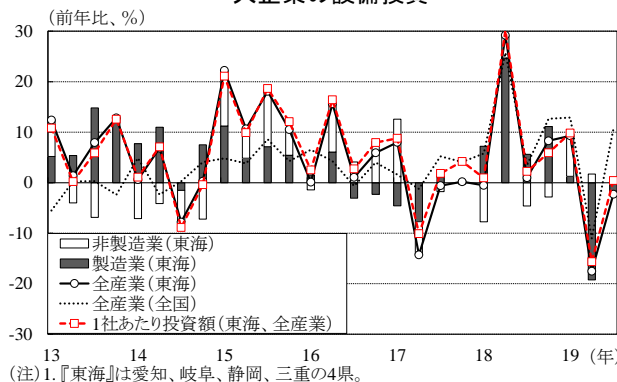
業種別の鉱工業生産(東海)



### 【設備投資】

7-9月期の大企業の設備投資は前年比▲2.3%と減少。1社あたり投資額は同+0.4%と増加。

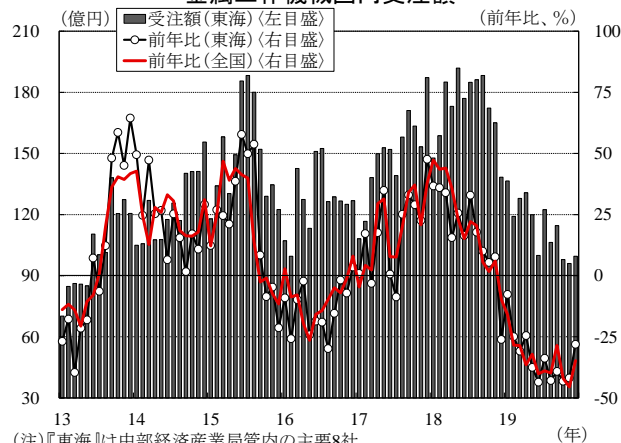
大企業の設備投資



### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は12月に前年比▲28.1%と、13ヵ月連続の減少。

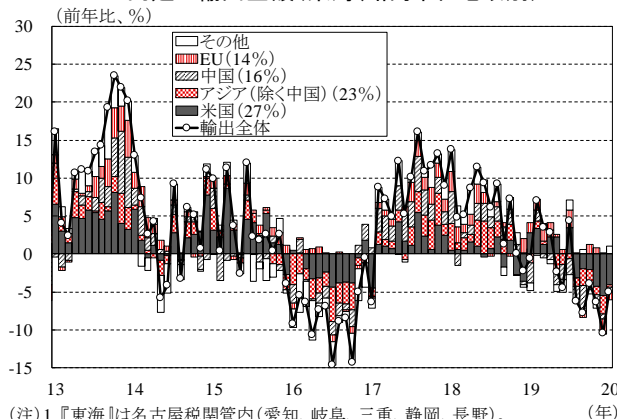
金属工作機械国内受注額



### 【輸出】

1月の輸出額(円ベース)は前年比▲5.0%と6ヵ月連続で減少。主要国・地域向けは総じて減少。

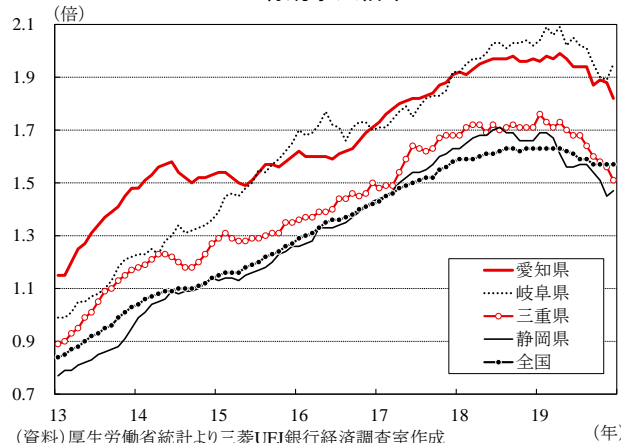
円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)



### 【雇用】

12月の有効求人倍率は、岐阜県と静岡県が上昇となった一方、愛知県や三重県は低下となった。

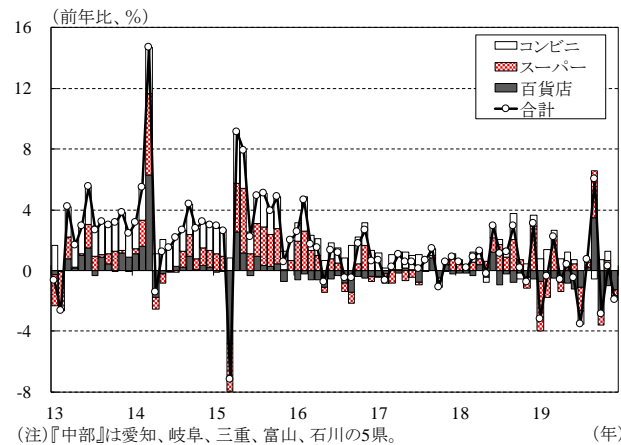
有効求人倍率



## 【個人消費】

12月の小売主要3業態の販売額は前年比▲1.9%と、2ヵ月ぶりの減少。3業態揃ってマイナスとなった。

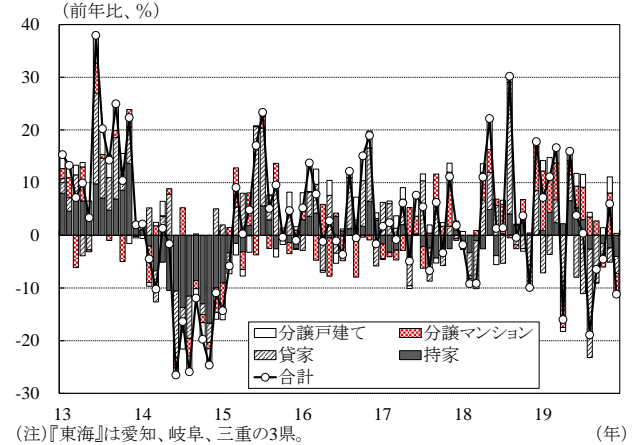
小売主要3業態の販売動向(中部)



## 【住宅投資】

12月の住宅着工戸数は前年比▲11.3%と、2ヵ月ぶりの減少。分譲戸建てを除きマイナスとなった。

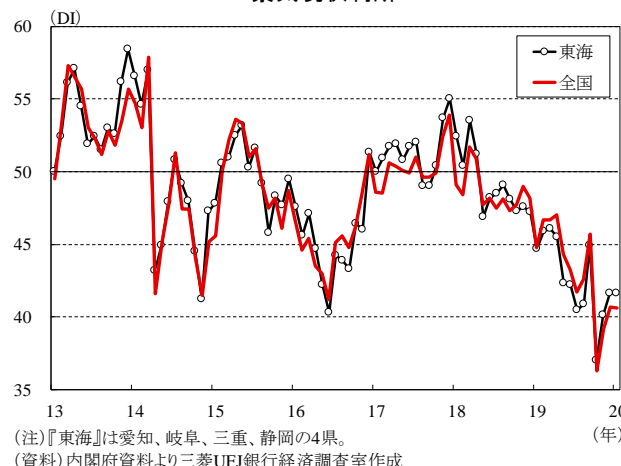
新設住宅着工戸数(東海)



## 【景気ウォッチャー調査】

1月の現状判断DIは41.6と、前月比横ばい。好不調分岐点の50を下回る水準ながら、全国比では高位。

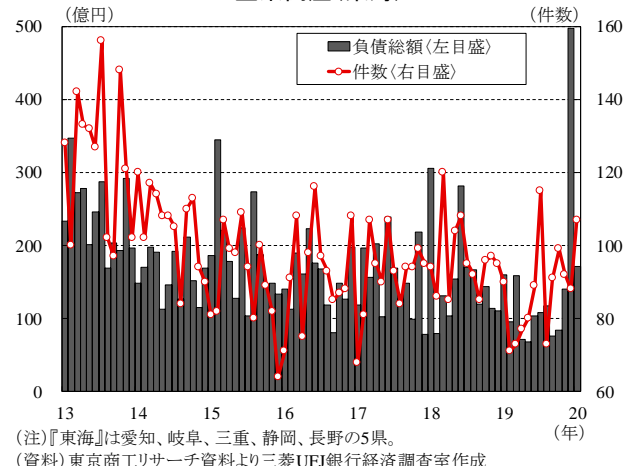
景気現状判断DI



## 【倒産件数】

1月の企業倒産件数は107件で、前年比+18.9%の増加。負債総額は172億円と、同+7.0%の増加。

企業倒産(東海)



## 【原油価格】

WTI先物は、新型肺炎の感染拡大に伴う経済活動への影響懸念から、1バレル50ドル前半で推移。

原油価格



## 【円相場・株価】

米経済堅調、新型肺炎の感染拡大といった要素が交錯するも、足元直近は株価下落、円高の動き。

円相場・株価



照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。